

うちゅうせん通信

広報係 2019年6月15日(土)発行 第13号

☆2019年今後の例会予定☆ 毎回土曜日、14時開始

7月27日 8月17日 9月28日
10月19日 ※12月14日 1月25日
2月15日 ※3月14日

場所は仙台市天文台
(2階・学習室)
※場所:市中心部(サボセン予定)

☆ 仙台市天文ボランティア会報 ☆

星空 ◎:好天 △:僅かに観望 ×:不可 ●:屋内のみ(中止のものは記載していません)

実施日	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空	投影スナップ	天候	主な内容
■ 3. 16(土)	総会	8名	15:00	17:00	-	-	-	2018年度活動まとめ、会計報告、2019年度に向けての体制
■ 4. 13(土)	例会(第1回)	5名	14:00	15:45	-	-	-	ボランティア保険証書配布、5月大型連休時の観望会予定者
☆ 4. 27(土)	えぼしリゾート	5名	19:20	20:30	△	有	2名 曇	大型連休初日の残雪が残る中での年度最初の観望会
☆ 4. 28(日)	えぼしリゾート	14名	19:20	20:30	△	有	2名 曇	観望会開始時は雲に覆われたが徐々に好天になり結果オーライ
☆ 4. 28(日)	アケティリゾート宮城蔵王	30名	20:00	21:00	◎	有	2名 晴	ホテル屋上で月明りもない暗さの中での初の観望会
☆ 4. 29(月)	アケティリゾート宮城蔵王	20名	20:00	21:00	◎	有	2名 晴	ホテル屋上で二日目、の観望会、平成最後の好天の星空
★ 4. 30(月)	アケティリゾート宮城蔵王	12名	20:00	20:30	×	有	2名 雨	雨天で終始曇天バージョンだけの観望会。
★ 5. 1(水)	アケティリゾート宮城蔵王	25名	20:00	20:10	×	有	2名 曇	前日と同様に、星が見れない残念な観望会
☆ 5. 2(木)	アケティリゾート宮城蔵王	65名	20:00	20:30	◎	有	2名 晴	最終日で、準備した座席が足りなくなる程の絶好の観望会
☆ 5. 3(金)	えぼしリゾート	41名	19:20	20:30	◎	有	2名 晴	連休後半は、いい天気で安定した観望が出来ました。
☆ 5. 4(土)	えぼしリゾート	57名	19:20	20:30	◎	有	2名 晴	前日に続き好天に恵まれた観望会
☆ 5. 5(日)	えぼしリゾート	45名	19:20	20:30	◎	有	2名 晴	春の連休最終日も好天で多くの参加者でにぎわった観望会
★ 5. 12(日)	水の森キャンプ場	19名	18:40	20:15	×	有	3名 曇	水の森キャンプ場管理棟での例年恒例の観望会は今年も曇天
■ 5. 18(土)	例会(第2回)	5名	14:00	15:45	-	-	-	5月観望会状況と新入会希望の方の紹介
■ 6. 15(土)	例会(第3回)	8名	14:00	16:00	-	-	-	7月からのえぼし観望会予定調整、会則の変更について

☆多 観望会のおようす - 平成 31 年 -

☆ えぼしリゾート・観望会(初日)【2019年4月27日(土)・報告:永井】

昨年は無かった4・5月連休のえぼしスキー場「空中散歩」が始まりました。本日が第1回で、1枚目の写真に有るポスターの通り連休中5回の実施です。明日(28日)は平成最後となり、5月3・4・5は令和の開催となります。本日は4名の予約だった様ですが、お天気が悪そうな事から2名になったとの事でした。その後、天気が回復傾向と言う事で3名の追加が有り、最終的に5名での実施となりました。開通したばかりのエコーラインが降雪のため閉鎖されたとかでたいへんな寒さでした。寒さと引き換えと言う訳ではないと思いますが、奇跡的に晴れ、寒さの中春の星座を楽しむことが出来ました。外に出る前に星座物語「星の仙人」を見てもらいました。

☆ えぼしリゾート・観望会【2019年4月28日(日)・報告:中村】

前日は寒かったと書き込みがあったので、冬の服装で出かけました。最初、写真を選んでもらい、全員そろったところでオープニング、続いて中村の今月の星空の説明、その後、外に出てもらいました。初めは薄曇りで(薄暮も加わって)星がよく見えません。時間がたつて、15分ほど天頂から北・西が晴れてきて、この時間だけきれいな星空を見てもらえました。沈みゆく冬の三角、カペラ、しし座、うしかい座、北斗七星、北極星と実際の星空で示すことができ、観客も満足したようでした。かなり気温が低くなり、室内で暖をとるよう案内しました。室内では天文写真・解説図を用いて、今年のいろいろな天文現象の予定を時間まで説明し、各自ゴンドラに乗車して降下、終了となりました。

☆ 宮城蔵王ホテル・観望会【2019年4月28日(日)・報告:永井】

観望の場所は、12階から出たところの屋上で、眼下の駐車場の明かりも届かず、月もない時期と言う事もあいまって最高のロケーションです。20時開始、最初に今見られる星空の説明をし、次に星座物語は「星の仙人」を見て貰ってから屋上に出てもらいました。北と東側の下の方に雲が有りましたが、天頂と西側は何か星座が判る状態で、北斗七星・アルクトウルス・スピカ・しし座・ふたご座・ぎょしゃ座などを確認することが出来ました。北極星は薄雲を通してやっと確認出来ました。楽しんでいる内に雲が張り出したので、残り10分位で再度室内に入ってもらう様に促しましたが、大半の方は五月雨式に戻られたようでした。部屋に戻られた熱心な2家族8名に対し、いろんな話をしましたが、一家族4名・特にお父さんから「あと一つ質問いいですか?」と何回か繰り返し、21時終了予定が20分遅れる結果となりました。ホテルの方から「喜んでおられたからいいじゃないですか」と言われホッとしたのが正直な気持ちでした。

☆ 宮城蔵王ホテル・観望会【2019年4月29日(月)・報告:永井】

予報では星を見るのは無理か?と思われましたが、なんと晴れたのでした。事前の説明もそこそこに屋上に出てもらい素晴らしい星空を堪能できました。埼玉からの方が多く「こんなに星が見られるなんて」とか「星が一杯」などの感動の言葉が寄せられました。昨日やっと確認出来た北極星もハッキリ・クッキリ見ることが出来ました。見られなかったのは四方向全て低い部分だけと言う状態・明日のお天気が絶望的なので、今夜が「平成最後の星空」になりそうです。部屋に帰るのもよし、会場に戻られた方には星や月の話をさせてもらいます・と予め言って置き、頃合いを見て戻ったら10名の親子が会場に待っておられました。最初に星座物語「星の仙人」を楽しんでもらい、その後はお客さん方にこちらから質問するやり方で、星や月の話を時間一杯させていただきました。最後に質問を促したら、4年生のお嬢さんが手を挙げてくれました。「今日星を見て、楽しいお話を聞いて星が好きになりました。これからもっともっと好きになる様にしたいです」質問では無く決意表明だったのでした。やった甲斐が有りました。時間を間違えて終了直後に来られた親子が3人。天体写真を選んで貰った後、外に出て貰いましたが、空は雲だらけでアルクトウルスがろうじて確認出来る状態。そんな中、望遠鏡にミザールとアルコルを導入し見てもらったところ、3歳のお子さんも「お星さまが見えたよ」って喜んでいました。帰るとき、お母さんからなんて言うのかな・と促され、発した言葉は「さようなら」でした(笑)。

★ 宮城蔵王ホテル・観望会【2019年4月30日(火)・報告:渡辺】

今日は朝から雨で、星空は見込めず曇天バージョンでの1時間でした。ホテルの宿泊者は多いものの悪天候のため参加者も8時の開始時には2家族6名から徐々に集まる程度の状況でした。初めに「5月の星空」の星図による今月の星空の説明。その後地球儀を使って、地球と月の説明と星の話、星座物語「オリオンとさそり」、おまけの説明と質問コーナーと進めてちょうど1時間で終了しました。皆さんがお帰りになった後、お2人が戻って来られ、聞きそびれた質問に船長が答えるオマケもありました。平成最後の観望会は、残念な天候でしたが、明日もあるでの良い天気で新時代の観望が迎えられたらいいのですが…。

☆ 観望会のように — 令和元年 —

★ 宮城蔵王ホテル・観望会 【2019年5月1日(水)・報告:大石】

午後8時スタート時点では12名の参加でしたが、終わるころには延べ人数で25名の参加がありました。曇りで外での観望は期待できませんでした。始めに、5月の星空を説明し、その後、地球と人工衛星や月の距離の話や、月の満ち欠けの説明などをして楽しんでました。お子さんも多いことで、星座物語。知っている星座をお子さんに聞いたところ、「さそり座」と声があったので「オリオンとさそり」を楽しんでもらいました。最後に質問コーナー！月の寿命やブラックホール、宇宙人の存在等の質問ありました。晴れている日に星空を眺めてほしいと感じました。終了後、京都から来られた親子と話す機会がありました。星好きなお子さんで、また来たいとのことでした。船長が令和初めての観望会と言うことで、特別な星図を作成し配布しました。

☆ 宮城蔵王ホテル・観望会 【2019年5月2日(木)・報告:永井】

最終回にしてようやくの晴れと言う事で開始直前で会場に準備した椅子がほほうまり、予約された方がもう少しいらっしゃると言う事で若干お待ち頂いてのスタートとなりました。その時点での参加人数が48名、挨拶の後、今夜見られる星空の説明。その間私は一足早く屋上で機材の準備と暗闇に目を慣らしながら、皆さんを待ちました。直接屋上に参加された方もかなりいらっしゃった様で、ホテルの方にお聞きした人数が全部で65人と言う事でした。お天気がいいと参加者がこれだけ増えるんですね！沈みゆく冬の星座と春の星座、北東の空からは織姫星(ベガ)も昇って来ており、1等星だけでも冬:4個、春3個、夏1個の8個が見えましたので結構賑やか・皆さんがお住いの場所では星はほとんど見られないと言いつつ大喜びされていました。1等星や二重星を2台の望遠鏡で見てもらいましたが、惑星も無く、望遠鏡の対象が少ないのがちょっと残念。それでも満天の星をご覧になったの満足度は大きかったです。

☆ えぼしリゾート・観望会 【2019年5月3日(金)・報告:中村】

今回は最初から最後まで雲一つない快晴、すばらしい星空を参加者に見せることができました。レストハウスに着き、お土産の写真を選んでもらい、全員そろったところで19:20オープニング。最初、シリウスが西の山影に沈むところだったので、外に出て望遠鏡でシリウスを見てもらいました。かろうじて冬の大三角がそろって見られます。各人に見てもらったところで、ハウスに入り、今月の星空の説明を聞いていただきました。終わって外に出て、肉眼では星や星座の説明、望遠鏡ではそれぞれの星を見てもらいました。肉眼では春の大曲線、北斗七星、北極星、かんむり座、しし座など。望遠鏡ではおおぐま座のミザール・アルコルやりょうけん座のコール・ロカリなどの二重星。東の空に上がったばかりのこ座のベガも見てもらいました。後半、寒くなってきたので、それぞれ自由にゴンドラで降下してもらい、終了となりました。

☆ えぼしリゾート・観望会 【2019年5月4日(土)・報告:小林】

19時20分から今日見える星空の説明。この間も上がってくる人や、ロックガーデンを見てきた人など、思い思いに集合でした。皆さんが書き込んでいるように、星や星座の説明が中心で、望遠鏡では二重星を見てもらいました。家族連れと北斗七星で視力検査をしたり、星座の並びを説明したり、暗くなるにつれ、ますますたくさんの星が見え、皆さん満足だったと思います。からす座もくっきり。プレセペ星団もぼんやり肉眼で。流星も飛んで、見えたそうです。ただ、インドからの留学生から「MilkyWayはどこ？」と聞かれたり、探している声が聞こえたりしたので、ポスターの写真を見て、見ると期待して来た方もいたのかな？と。それから、リピーターの家族連れもいましたが、他の季節はしてないのか？と聞かれたので、宣伝しておきました。今晚の星空を見たら、リピーター増えそうですね！船長が書き込んでいたように、日中の気温は、関係ないです。とにかく寒いです！ただ、水仙と途中の桜はいいかんじでしたよ！

☆ えぼしリゾート・観望会 【2019年5月5日(日)・報告:中村】

開始前にレストハウスの外に出て、西の空に沈むシリウスを見てもらいました。最後の方が見終わつたくらいに山の端に隠れ、見えなくなってしまう。19:20オープニング、あいさつの後、今月の星空の説明、星座早見盤の見方・使い方、この時期になぜ天の川がみられないのかななどの話を簡単にしました。その後、すぐに外に出てもらい実際に見られる星座や星、望遠鏡で星を入れてみてもらいました。今回は「かに座のプレセペ」を望遠鏡に入れて見てもらうことができました。見学者の方は、それぞれロックガーデンに行ったり、途中でゴンドラで降下する人もいて、最後は熱心な参加者の方が4人ほど残る位になってしまいました。寒くなってきたので、時間ともなり、ゴンドラで降下して解散となりました。帰る途中の、22:30頃、南東の空から明るい星が上がってくる「木星」が見えました。

★ 水の森キャンプ場・観望会 【2019年5月12日(日)・報告:永井】

先日帰省の際撮って来た昇る天の川の写真をプロジェクターで見てもらいながらいろんな話を聞いて頂くことから開始し、思いつくまま星座や月などの話を小一時間聞いて貰いました。外に3台の望遠鏡を設置してましたので、様子を見に外に出ましたが、空は曇ったままでしたので、星座物語「星の仙人」を読みました。次に、質問コーナーをし、最後に地球の環境問題を空気や水の話と交えながらの話をしました。室内の片づけをしていて判りませんでしたが、外の望遠鏡で全員の方が帰る際に雲間の上弦の月をご覧になった事を知り、ホッとしました。私が望遠鏡の片づけを始めた時点では今までの雲が嘘の様に晴れ間に変わり、綺麗な半月をはじめふたご座、北斗七星、春の大三角、コルカオリなどを確認することが出来ました。晴れたこの時点でいろいろ見ることが出来たのは主催者側の関係者とうちゆうせんのスタッフだけだったのが大変残念でした。

◆ 編集後記 ◆

◆ 今年のGWは、元号の切り替えて10連休となったことで、連日宮城蔵王での観望会依頼があり、これ迄経験した事のない年度スタートとなりました。冬のような寒さに震えたり、月や惑星が見れない時期で、春霞や薄曇りで星が全く見えず、当たり外れの振れ幅が大きく感じられました。春の星座の説明資料も欲しかったと思いましたが、検討、補充する時間が無かったのが現実でした。今後活かしたい経験だと感じました。(辺)